

INFORMATION

No. 2102-02

ALP・LD・ALPアイソザイム 検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、日本臨床化学会より発表された「常用標準法をIFCC法に変更する基本方針」に基づき、当該検査項目を4月1日(木)より、検査内容を変更させていただくことになりましたので、再度ご案内申し上げます。

先生方には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒宜しくご了承のほどお願い申し上げます。

敬具

記

■変更内容

コード	検査項目名	変更箇所	新	旧
0016	アルカリフォスファターゼ (ALP)	検査方法	IFCC標準化対応法	JSCC標準化対応法
		基準値	38~113 U/L	104~338 U/L
0019	乳酸脱水素酵素 (LD)	検査方法	IFCC標準化対応法	JSCC標準化対応法
		基準値	124~222 U/L	106~245 U/L
0756	ALPアイソザイム	基準値	ALP1 0.0~5.3%	設定なし
			ALP2 36.6~69.2%	36~74%
			ALP3 25.2~54.2%	25~59%
			ALP5 0.0~18.1%	0~16%

※ALP・LDの新法と旧法の相関に関しては裏面をご参照ください。

※「コードNo.0755:LDアイソザイム」はIFCC法対応試薬が未販売の為、変更はございません。

■変更日

2021年 4月 1日(木) 受領分より

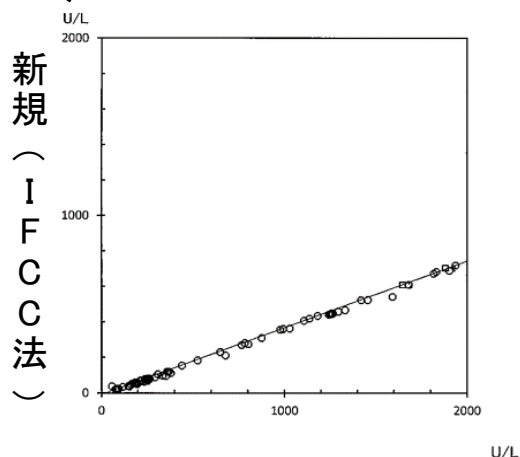
株式会社 武蔵臨床検査所

〒358-0013 埼玉県入間市上藤沢309-8
TEL 04-2964-2621 FAX 04-2964-6659
URL <http://www.e-musashi.co.jp>

*お問い合わせは当社または担当者までお願いいたします。

ALP・LD 相関図

〈ALP〉



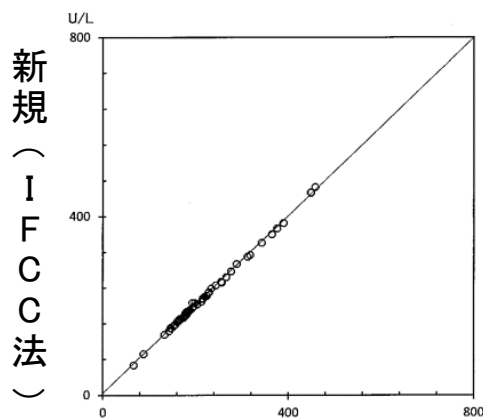
n = 72
r = 0.9994
Y = aX + b
a = 0.375
b = -8.687
xMean = 700.7
yMean = 254.3

自社検討資料

現行 (JSCC法)

- ・測定値が現行の1/3程度の数値になります。
- ・IFCC法に変更することで血液型B, O型では小腸型ALPを含む検体で低めになり、逆に妊婦では胎盤型ALPが増加することにより高めに測定されます。

〈LD〉



n = 52
r = 0.9992
Y = aX + b
a = 0.994
b = 4.154
xMean = 227.3
yMean = 230.1

自社検討資料

現行 (JSCC法)

- ・LD5優位検体では現行のJSCC法に対して低めの活性になります (LD5が50%の症例では測定値の差は20%未満)。